

21世紀型の教育チェンジメーカーを

— 連合教職大学院・自治体（大阪市等）
 ・ Teach for Japan との「オンライン・グローバル教育研修」の成果 —



Research Fellow

Purpose of the Study



Conclusion

資料・映像は
 コチラ⇒



取組の背景

連合教職大学院では、大阪市教育委員会・大阪府教職コンソーシアム・堺市教育委員会と連携して「21世紀型スキルとグローバル教育研修プログラム（GLEE）」のZOOMによる双方向ビデオ会議システムを活用した研修を開催した。2020年8月から11月まで、土曜日午後後に合計4回の講座（90分×2コマ×4回）を行った。修了する22名の大阪府下の教員に「21世紀型スキルとグローバル教育研修修了証」が授与されると共に、所属学校での、新しい教育課程実践に役立ててもらおうと大学院の「アウトソーシングプログラム」として開発したものである。

(GLEE : Global Leadership for Educational Entrepreneurship)

目的

新しい教育課程の始動において、グローバル教育研修を企画・推進できる21世紀型教育チェンジメーカーを育成するためのプログラムの創生と、成果を検証する。オンライン遠隔講義において、「人間性の重視と対話的研修、EdTech等新たなICT活用研修、英語をもちいた地球に課題やSDGsに関する教科横断的指導スキル研修、グローバルリーダーシップの価値観醸成」の往還は、教員の21世紀型スキルを育て得るのではないかと仮説について、プログラムを実行し、グローバル55項目（G55）に拠る量的・質的変容を見とる。
 Key Words: 21世紀型スキル グローバル教育 対話型オンライン遠隔講座 組織づくり

21世紀型の教育 ファデル：4つの次元

- 1 知識
- 2 スキル
- 3 人間性
- 4 メタ認知



背景①

連合教職大学院
 スクールリーダーシップコース
 グローバルプログラム 3講義での実践（2018-2021）

結論

グローバル教育研修プログラム（GLEE）は、G55に拠ると全体に大きな変容が見られ、効果があったと言える。特に、「適切かつ影響力をもった交流活動ができる力」の育成を中心に添えて、筆者らが、NPOのスピードのある流動的な研修スタイルと、大学のグローバルプログラムでの蓄積や海外連携、自治体と一体感のある共通理解を融合することにより、現職教員の受講者が、学びをすぐに自校の課題に結び付けて考える機会をもちらした。
 グローバル視野を中心に据えたが、研修が対話的であり、講師らのスクールリーダーシップ視点を加えることで、ファデルの4つの次元では、「人間性や対人づくり」への自己効力感を持つに至った。「教えるスキル」の向上が実行力を支え、グローバルな視野で学校教育を見直したと言える。OPPAシートやコメントからは、学校における、課題やジレンマをどうマネージメントするか、組織でイノベーションを起こすための動き方についてのノウハウがあるか学び実行し始めるきっかけをもちらしたと言える。



Research Procedures

参加者

大阪市との連携で40名の応募があり、抽選で21名が参加した。大阪市8名、大阪府4名、堺市3名、附属学校1名、教職大学院5名、が参加しており、小学校から高校まで多様な教科専門性を持つ教員が学び合った。

検証方法

- 1 参加者はまず「グローバル教育とは何か」について「問い」をたて、省察ポートフォリオを記録した。
- 2 大阪教育大学連合教職実践研究科（以下教職大学院）のグローバルスクールプログラム講義に基づき開発した「グローバル55項目」（柏木・田中、2018）によるアンケートで、事前と事後の変容を検証した（事後は記述も含む）。

項目	事前	事後
1. 基礎知識	71.1	84.0
2. 人間性・対人スキル	89.4	91.8
3. メタ学習・転移スキル	67.5	10.7
4. 教員として教えるスキル	70.5	13.1
5. グローバル社会に対応するスキル	62.0	18.8



グローバル教育を自校の生徒に結びつけるプログラム創生

ベトナム教員研修生とグループでCLIL模擬授業講義

背景②

VUUCAの時代
 Covid-19の影響

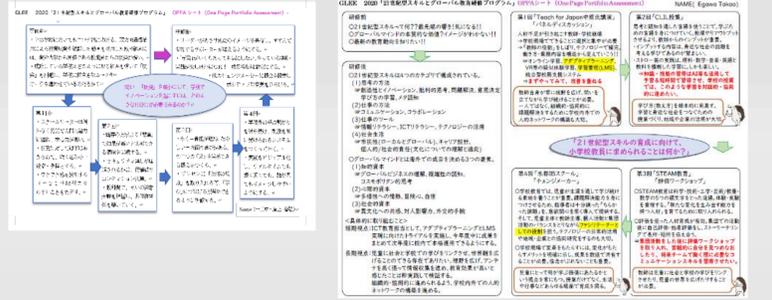
背景③

フィンランド オーストラリア フィリピン アジア国の教育改革連携
 IBプログラムの理念に学ぶ（大阪市水都国際中高）
 海外連携 ネットワーク教員とのコラボ
 COVID-19の影響によるオンライン講義への即対応

シラバス・コーディネーションのポイント

- ① グローバルスクールリーダーとしての開催者としてのネットワーク
- ② 学びをスパイラルに結ぶ
- ③ 目的に合致した成就モデルと出合わせる
- ④ 受講者が答えを見つけて対話型研修をする

参加者の変容のプロセス 省察ポートフォリオ例（OPPAシート） 自分の問いから自分の学校の課題に活かす



Practice: オンライン・グローバル教育研修

NPO連携 Teach for Japanの、フェローシッププログラム事業 EdTechを含めた変化の激しい時代に対応する 教員スキルとは何か？

- ・人としての土台
- ・教員としての土台
- ・チェンジメーカーとしての土台

- ・多様な人材
- ・NPO 企業 JAICA等の経験
- ・2年間の派遣



参加者の動機が始点
 安心して対話できる場づくり
 ZOOM
 Google Classroom
 オンライン基礎ツール



EdTech ICT活用スキル
 変化の激しい時代に必要な教師力
 21世紀のチェンジメーカーを

CLIL : 英語と思考 Learner Agency
 社会に貢献する創造力を育てる
 Teacher Talk:
 英語でメッセージを伝えるコツ



STEAMと科学的思考
 SGH評価ワークショップ
 (失敗させる一学一論理的思考→自ら行動・協働力)

21世紀型チェンジメーカーとして
 ジレンマに立ち向かうWS:
 TFJ アラムナイ（研修修了生）参加
 ZOOMブレイクアウトセッション
 受講生OPPAシートでプレゼン

IBプログラムの理念：批判的思考スキル
 社会に貢献する創造力を育てる
 大阪の水都国際中高の成就モデル



大学院のZOOM海外連携講義にも学校の職員室から参加する機会を設定した。（11月）
「フィンランドの教育と学校経営」
 ユバスクラ大学 矢田匠氏
 リーダーシップ理論と、結果を出せという信念（効力感）が生れる要素として、「共同・共有・援助等」について議論

GLEEプログラム（90分×8講義）

日数	実施時間	講師	内容	講師
第1回	8月23日 (日) 15:00-16:30	21世紀型スキル(グローバルリーダーシップ)	研修の目的と意義、研修の進め方、自分の問いをたて、自分の問いをたて、自分の問いをたて、自分の問いをたて	橋本 甲子 (連合教職)
第2回	8月24日 (月) 15:00-16:30	21世紀型スキル(グローバルリーダーシップ)	「グローバルリーダー」になるEdTech活用研修	甲子 甲子 (連合教職)
第3回	9月19日 (土) 15:00-16:30	21世紀型スキル(グローバルリーダーシップ)	ZOOM「対人スキル」(TFJ) 海外連携講義	橋本 甲子
第4回	10月17日 (土) 15:00-16:30	21世紀型スキル(グローバルリーダーシップ)	「対人スキル」(TFJ) 海外連携講義	橋本 甲子
第5回	10月17日 (土) 16:40-18:10	21世紀型スキル(グローバルリーダーシップ)	「対人スキル」(TFJ) 海外連携講義	仲矢 史雄
第6回	11月3日 (土) 15:00-16:30	21世紀型スキル(グローバルリーダーシップ)	「対人スキル」(TFJ) 海外連携講義	John Botting
第7回	11月3日 (土) 16:40-18:10	21世紀型スキル(グローバルリーダーシップ)	「対人スキル」(TFJ) 海外連携講義	甲子 甲子
第8回	11月3日 (土) 18:20-19:50	21世紀型スキル(グローバルリーダーシップ)	「対人スキル」(TFJ) 海外連携講義	橋本 甲子 (連合教職)

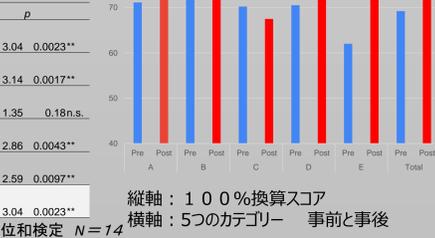
Results & Analyses:

グローバル55項目: Edu21st Scale

事前と事後の変容 2020年8月⇒11月

アンケートカテゴリは5種類である
A: 教員としての基礎知識
B: 人間性・対人スキル
C: メタ学習・転移スキル
D: 教員として教えるためのスキル
E: グローバル社会に対応するスキル

カテゴリ	Score	SD	z	p
A 基礎知識	71.1	8.4		
Post	83.2	10.6	3.04	0.0023**
B 人間性・対人スキル	74.3	12		
Post	89.4	9	3.14	0.0017**
C メタ学習・転移スキル	70.2	10.7		
Post	67.5	10.9	1.35	0.18n.s.
D 教員として教えるスキル	70.5	13.1		
Post	85.2	10.5	2.86	0.0043**
E グローバル社会に対応するスキル	62	18.8		
Post	75.2	18.9	2.59	0.0097**
Total 全体総合	69.2	11.1		
Post	83	10.4	3.04	0.0023**



参考文献

柏木賀津子・伊藤由紀子（2020）『とっておき！ 魅せる！ 英語授業プラン-思考プロセスを重視するCLILの実践』明治図書
 シュバトヤ・アンドレアス、岸学訳、（2015）『OECD/Japanセミナー 講演資料』
 田中満公子（2020）『教室から世界を変える-認定NPO法人 Teach For Japanの10年間の軌跡と挑戦』『スクールリーダー研究』13,39-44.
 田中和代（2020）『グローバルリーダー-育成カリキュラムの開発』(p.12) 読売新聞社
 ファデル,C.,ピアルク,M.,& トリリング B.,岸学（監訳）（2016）『21世紀の学習者と教育の4つの次元』, 北大路書房

結果： 最も変容が大きかったカテゴリはBの「人間性や対人関係の項目であった。」

項目	カテゴリ	Pre	Post	z	p
1. 基礎知識	A	71.1	84.0	4.4	5.5 2.71 0.01**
2. 人間性・対人スキル	B	89.4	91.8	4.6	5.6 2.71 0.01**
3. メタ学習・転移スキル	C	67.5	10.7	3.8	5.2 81 0.01**
4. 教員として教えるスキル	D	70.5	13.1	4.3	5.4 2.82 0.01**
5. グローバル社会に対応するスキル	E	62.0	18.8	4.6	5.4 2.19 0.03*
6. 人間性・対人スキル	B	74.3	12	4.2	5.3 2.88 0.01**
7. 基礎知識	A	70.2	10.7	4.5	5.2 2.28 0.01**
8. 人間性・対人スキル	B	85.2	10.5	4.8	5.2 1.35 0.12 n.s.
9. メタ学習・転移スキル	C	70.5	13.1	4.8	5.5 1.95 0.06 n.s.
10. 教員として教えるスキル	D	62.0	18.8	4.9	5.6 2.04 0.04*

B D Eの項目を中心に、プログラムが影響を与えた項目を以下の色枠ごとに示す。

- B2: 同僚や先輩の相談にのることができる、**メンター**
- B3: 長期プランを持って学び合う環境を構築することができる、**見通す力&協学**
- B4: 構成員が専門性を重視し、互いにその成果を公平に認め合える、**公平&尊重**

結果： Dの「教員として教えるスキルの変容」もある程度変容が大きいものであった。

項目	カテゴリ	Pre	Post	z	p
1. 基礎知識	A	71.1	84.0	4.4	5.4 2.86 0.01**
2. 人間性・対人スキル	B	89.4	91.8	4.6	5.6 2.71 0.01**
3. メタ学習・転移スキル	C	67.5	10.7	3.8	4.9 2.45 0.02**
4. 教員として教えるスキル	D	70.5	13.1	4.2	5.1 2.22 0.03*
5. グローバル社会に対応するスキル	E	62.0	18.8	4.2	4.8 1.59 0.11 n.s.
6. 人間性・対人スキル	B	74.3	12	4.1	5.2 2.07 0.04*
7. 基礎知識	A	70.2	10.7	3.9	5.2 0.7 0.04**
8. 人間性・対人スキル	B	85.2	10.5	3.5	5.4 2.75 0.01**
9. メタ学習・転移スキル	C	70.5	13.1	4.4	5.3 2.4 0.02**
10. 教員として教えるスキル	D	62.0	18.8	4.5	5.4 2.4 0.02**
11. グローバル社会に対応するスキル	E	62.0	18.8	4.1	4.6 1.3 0.9 n.s.

D1: 生徒が自分の言いたいことを伝え合う授業ができる伝え合う指導

- D8: 生徒が自分の人生のキャリアを計画しその生活を豊かにするよう教師力を前進させる **生活の充実&キャリア**
- D9: 生徒に創造性を育むために、正解が一つではない問題解決学習の活動を立案できる **主体的な学習指導**

結果： Eの「グローバルに対応するスキル」は良く伸びた項目と伸びなかった項目があった。

項目	カテゴリ	Pre	Post	z	p
1. 基礎知識	A	71.1	84.0	4.4	4.9 1.42 0.15 n.s.
2. 人間性・対人スキル	B	89.4	91.8	3.6	4.1 1.19 0.23 n.s.
3. メタ学習・転移スキル	C	67.5	10.7	3.4	4.1 1.19 0.23 n.s.
4. 教員として教えるスキル	D	70.5	13.1	3.4	3.9 1.29 0.2 n.s.
5. グローバル社会に対応するスキル	E	62.0	18.8	3.1	4.1 0.8 0.42 n.s.
6. 人間性・対人スキル	B	74.3	12	3.1	4.1 0.8 0.42 n.s.
7. 基礎知識	A	70.2	10.7	3.7	4.9 3.06 0.002**
8. 人間性・対人スキル	B	85.2	10.5	3.7	4.9 2.67 0.008**
9. メタ学習・転移スキル	C	70.5	13.1	3.4	4.4 2.7 0.006**
10. 教員として教えるスキル	D	62.0	18.8	4.4	5.4 2.58 0.009**
11. グローバル社会に対応するスキル	E	62.0	18.8	4.1	4.6 1.49 0.14 n.s.
12. 基礎知識	A	70.5	13.1	3.7	4.3 1.91 0.13 n.s.
13. 人間性・対人スキル	B	85.2	10.5	3.9	4.6 1.57 0.12 n.s.

- E5: 先進国や発展途上国などの複眼的情報を収集し、地球市民として考え行動することができる **地球市民21C**
- E6: 言葉や文化が異なる同僚の視点を理解し、意思疎通を図り、共に働くことができる **外国語&異質性を受容・協働**
- E8: 地球環境や世界の豊かを見方をするために、英語などの外国語で視覚教材を作成できる **外国語&デジタル**
- E9: 新しい体験に対して心を開き、失敗をとおして自己効力感を高めるよう励ますことができる **異文化&好奇心**

・2020年度NITS独立行政法人教職員支援機構採択プログラム(柏木賀津子・田中満公子)
 ・国際共同研究加速基金「グローバルスクールリーダーの資質」19KK0059 (代表: 柏木賀津子)